

鹿児島県原子力安全・避難計画等防災委員会
委員及び特別委員の皆様へ、

原子力安全・避難計画等防災委員会
座長 宮町宏樹
川内原子力発電所の運転期間延長の検証に関する分科会
座長 釜江克宏
2022年6月23日

川内原発の20年延長事項に関して、川内原子力発電所の運転期間延長の検証に関する分科会（釜江座長）は活発に活動を開始しています。当専門委員会でも、分科会と連動し、20年に係る事項の議論を開始したいと思います。7月6日の専門委員会において、議題予定の「川内原子力発電所の運転期間延長の検証について」において、分科会からの報告の後、下記の〈提案〉を全委員の皆様にご説明させていただきますので、専門委員会当日、委員の皆様のご意見／ご承諾をお願いします。

〈提 案〉

一般に、経験の無い未知の事象に対して、事前に対応策を構築することは難しい場合があります。さらに、その対応策が適切であるかを評価することはより難しいと思われます。一方、過去に発生した事故・故障等に対しては、少なくとも、将来において、同様の事象の再発防止を徹底することが現実的には重要だと思います。そのような観点から、分科会で審議していただいている「特別点検」や「高経年化技術評価」など以外に、専門委員会と分科会が協力し、科学的&専門的な視点から、過去の事故・故障等とそれに対する九電の対応策を評価／検証することは有益であろうと思います。

- ① 九州電力に対して、川内原子力発電所の稼働開始～現在までの事故・故障等や国内の他の原子力発電所で発生した重要度の高い事故・故障等に対する九州電力の対応・対策資料の提供を要請します。過去に発生した事故・故障等の再発防止の観点から、九州電力が構築している対策（科学技術的な対策、組織の運用体制、担当者の教育体制）をこの資料から正しく認識することを目指します。
- ② 提供資料をベースに、特定の専門分野の研究者から構成されている分科会では、その専門性を活かした事故・故障等への対応（主に、科学技術的な対策面）と「特別点検の評価」や「高経年化技術評価」などを、一方、専門委員会では、多様な視点から事故・故障等への対応（主に、組織の運用体制面と担当者の教育体制面）を検証したいと思います。なお、今後、分科会と専門委員会の両座長の協議の上、分科会と専門委員会で主に取り上げるそれぞれの具体的事案を決めたいと思います。

- ③ 検証する際には、種々の視点が必要と考えられますが、例えば、事故・故障等の再発防止に関しては品質マネジメントシステムの中でしっかりと対応しているかを検証し、劣化によって発生した事故・故障等であれば、当然、予防保全的に早めの対応が重要になります。もちろん、過去に発生した事故・故障等には種々の原因が想定される場合もあると考えられ、その原因の見極めの妥当性を検証することも重要となります。さらに、発生した事故・故障等の再発だけではなく、波及的に発生した事故・故障等の存否も考えることが必要になる場合もあるでしょう。
- ④ 当委員会と分科会では、過去に発生した事故・故障等の教訓と九州電力の将来に向けた対応策が許容できる範囲内にあるのかを科学的&技術的な側面から検証します。この検証によって、九州電力のこれまでの安心・安全への取り組み姿勢を評価することが可能となり、稼働期間の延長を審議する際の一つの判断材料になるのではないかと思います。また、本委員会は、品質管理の視点からの検証と今後の継続的な監視という重要な役割を担うことが期待されるでしょう。

7月6日の専門委員会で委員及び特別委員の皆様のご了承が得られ次第、県事務局を通して、資料の早急な作成を九州電力に依頼したいと思います。

なお、委員会の有限な時間を有効に使うため、九州電力より提供された資料は委員の皆様事前に配布し、内容の確認と検討をお願いする事になります。実際の委員会では、全ての事案を取り上げることは時間的に非現実的であると思われるので、重要度の高い事案を中心に取り上げる方針です。皆様のご理解とご協力をお願いします。

以上.